ユネスコエコパークに登録された、
静岡市井川と川根本町の
魅力を伝える、地域でつくる新聞

井川と川根をつなぐ
いかわね新聞
No.9

いかわね新聞 第9号　2018年3月1日発行（年3回発行）
発行・南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会
〒420-8602　静岡市葵区追手町5の1　静岡市環境創造課内
℡054(221)1357

【会員】静岡森林管理署、天竜森林管理署、静岡県、静岡市、川根本町、(株)特種東海フオレスト、中部電力(株)静岡水力センター、しずてつジャストライン(株)、川根本町森林レクリエーション推進協議会、自然公園指導員【協力】井川観光協会、川根本町まちづくり観光協会、南アルプス・井川エコツーリズム推進協議会、一般社団法人エコティかわね

【会の紹介】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会は、南アルプス周辺地域の自然環境の保全と文化の継承を図り、その持続可能な利活用を推進することを目的とした協議会です。※この新聞では、川根本町の情報を「かわね」と表記しています。

舞台を厳しく見つめる会長の姿（川根）

若手を見守るお師匠ら（井川）

1月20日に行われた梅津神楽（川根）

八王子の舞（井川）

笛の音を口ずさみ懐かしむ（川根）

楽屋は縁の下の力持ち（井川）

いかわねに木霊（こだま）する里神楽（さとかぐら）

「ヒャヒャリ～コヒャ～」篠笛（しのぶえ）の音が静寂ないかわねの山々に響き渡る。「デンデコデン」拍子を取る太鼓に合わせ、華やかな衣装を纏（まと）った舞人が優雅に時に陽気に舞を舞う。厄払い、五穀豊穣（ごこくほうじょう）などを願い、神に感謝を捧げる楽（がく）の音（おと）と舞は神楽と呼ばれ、地域活性の思いも込めて受け継がれています。

「笛に譜面はない。聴いて覚えた。」体で覚え人から人へ伝えられ、集落から集落へ広がるうち、各地で独自性が生まれていきました。井川は、神と繋がる儀式として厳かで神秘的。梅地(川根)には、観客も一緒に楽しめる親しみやすさがあります。各地の神楽を鑑賞すると、神楽はそこで暮らす人々と共に歩み今に生きているのだと感じます。

「神楽を通して先輩からいろいろ学んだよ。」神楽は世代を超えた交流の場。また、井川や川根で神楽があれば、お互いに観に行ったり、舞に行ったりといかわねを繋ぐ場でもあったとか。「お互いの舞を観て、ヤイヤイ言い合える仲が良かった。」どこか懐かしく温かな祭りが目に浮かびます。

「笛が鳴ると自然と体が動いてしまう。」と、続けている人々は本当に神楽を愛しています。「素晴らしいものだと思う。絶やしてはいけない。」と、先輩方から受けた熱意は未だ冷めず、「神楽を好きな人が集まって、楽しみで続けて欲しい！」と願っています。この熱が繋（つな）がり続ける限り、笛の音は今後もいかわねに木霊（こだま）し続けることでしょう。

いかわねの人々 Vol.9 前田（まえだ） 宥（ひろし）さん（川根本町）

全国に数軒しかない茶箱工場。本来の「お茶を保存する」箱としてはあまり使われなくなってしまいました。今ある工場は全て静岡県内にあるのですが、そのひとつが川根本町の「前田製函所」です。

川根では夏休みや冬休みと同じように、学校が休みになっていた茶摘みの時期の「お茶休み」。中学生だった前田さんはこの時期、茶摘みではなく「茶箱作り」を手伝っていたんだそう。もともとブリキの屋根職人だった前田さんのお父さんが始めた茶箱作り。忙しく働く父の姿を見て、「自分も手伝わないと」と自然と職人の道へ進みました。

茶箱作りの要の作業は、板を切り出して箱のパーツを作るところ。どの板を箱のどの場所に使うかを決めるのは、今でも難しいと感じるのだそう。「職人は見て覚えにゃあだめだねえ」と話す前田さん。小さい頃から身近にあった茶箱作り。そこから60年以上作り続けてきたからこそ、前田さんの口にする「職人」という言葉はとてもずっしりしたものでした。

「何を入れるにも茶箱はいいよ。」とうれしそうに話す前田さん。奥さんによると、茶箱から出して着るセーターは、他の入れ物に入れておいたものとは違うんだそう。何を入れて使おうか考えるだけでもわくわくしてきますね。

（文　村松 由貴）

井川っ子の熱い想い、伝わったよ

12月16日(土)井川支所において、井川小中学校の子どもたちが一年間の学習の成果を地域の方に伝える学習発表会を行いました。

総合的な学習の時間「ふるさと井川学習」では、答えのない課題に一人ひとりが本気で考え取り組んできました。本気で取り組んだからこそ、「発表会にはたくさんのお客さんに来て欲しい！」と考え、お世話になった方々に手紙を書いたり、しおりや自分たちが育てた雑穀入りのクッキーやマフィンを作ってプレゼントしたりしました。

地域の方からは「ふるさとを愛する気持ちが伝わってきた」「みんな井川のことを考えてくれていることがうれしかった」と、井川以外の方からも「井川の空気感が伝わってきた、地域のみんなで育てていこうという心意気を感じた」などのメッセージを頂きました。

お忙しい中来てくださった皆様、本当にありがとうございました。是非来年もお越しください♪

2018 3月～ いかわねのイベントカレンダー

3月	10日～11日(土・日)	かわね	SLフェスタ
	11日(日)	かわね	お茶の里ファミリーマラソン
4月	8日(日)	かわね	徳山さくら祭り
	中旬	かわね	川根茶の日
	下旬	いかわ	リバウェル井川春スキーオープン
	下旬	いかわ	南アルプス井川オートキャンプ場オープン
	28日(土)	いかわ	二軒小屋・椹島ロッヂ営業開始 大井川源流特定区釣り場開設
	29日(日)	いかわ	赤石温泉まつり（白樺荘）
5月	4日(金・祝)	いかわ	あまごの里釣りまつり（東河内）
	5日(土・祝)	いかわ	春まつりin井川ビジターセンター
	中旬	いかわ	リバウェル井川羊毛刈り体験
	中旬	かわね	ホタル観賞（南アルプス接岨大吊橋付近）

※予定は変更される場合があります。
詳しくは下記までお気軽にお問合せください。

井川観光協会
☎054-260-2377
川根本町まちづくり観光協会
☎0547-59-2746